

みてやっぺ！

成人式



晴れ着姿が美しいです



懐かしい仲間との再会

1月8日に富岡町成人式がベルヴィ郡山で開かれました。まず、会場に着くと懐かしい顔達が並んでいました。多くは、中学校卒業して以来会っていないので、およそ5年ぶりの再会です。久しぶりの再会に思い出話も尽きることはありません。

式では、遠藤町長をはじめ、たくさんの方々からお祝いのお言葉をいただいたほか、ゲストとして「DEPAPEPE」のお二人がミニコンサートを開いてくださいました。お二人は、以前富岡の学びの森でコンサートを行ったこともあります。今回もギターによる爽快な演奏をしてくださいました。

また、新成人代表の言葉を聞くにあたって、自らも20歳という節目の年を迎えるにあたり気持ちを新たにして、これから的人生を歩んでいくうと固く心に誓いました。

昨年は、東日本大震災があり、悲しい年ではありました。富岡町は、地震、津波による被害に加え、原発事故

により全町民が避難しなければならない状況が続いています。

しかし、このような厳しい状況の中ふるさとである富岡町と場所は違えど、今年も成人式を開いて下さったおかげで、現在は全国各地に散らばっている、富岡町で共に学び、遊び、成長した仲間と再び会う事が出来ました。大変感謝しています。共に学校生活を過ごしていた以前とは違って、今後は目指す道も歩む道は異なりますが、それぞれの道を一生懸命進むことが、最終的にふるさとである富岡町を元気づけることにつながるのではないかと思います。

僕たちの若い力でこれから福島、日本を明るくしていきたいと思います！

文：成人代表おだがいさま特派員 石井 弘輝

幼稚園児が 熊耳応急仮設住宅で 餅つき交流

行われた餅つきには「せきれい保育施設」「三春ABCキッズ」の子供たちも参加しました。合わせて20名の子供たちが集まり、とても賑やかな餅つき交流会になりました。ご支援していただいたもち米を使い雪が降る寒い中、子どもたちは杵と臼で一生懸命つきました。お餅はお雑煮やお汁粉・きな粉餅にしてもらい、みなさんおかわりしながら美味しそうに頬張っていました。

また、子どもたちは仮設の方たちを前にダンスなども披露し、たくさんの拍手を頂きました。幼稚園より仮設の方々への贈り物として手作りボードを渡し、仮設の方々からはたくさんのプレゼントを頂きました。子どもたちも仮設の方々も笑顔えがおの楽しい餅つき会となりました。

幼稚園では、今後もいろいろな形で沢山の方と交流ができるべと計画しているとのことです。

1月13日(金)に三春にある富岡町立幼稚園の園児たちが熊耳応急仮設住宅を訪れ、仮設の皆さんと餅つきをしての交流をしました。幼稚園が主催して



餅つき…南一丁目・富田応急仮設住宅

1月14日(土)に南一丁目応急仮設住宅で、「ヨークベニマル安積店」さんのご厚意で仮設にお住まいの方々との餅つきが行われました。冷たい風が時折吹き付ける中、朝早くから準備が行われ、お昼前から杵と臼を使って餅つきが始まりました。つき手と返し手の絶妙のコンビネーションで餅をついたり、子供たちが臼を囲んで千年杵でついたり、つきあがったお餅を一つ一つの大きさにちぎったり、子供からお年寄りの方まで住民の皆さんも積極的に参加されておりました。つきあがったお餅はお雑煮として皆さんに振る舞われ、皆さん寒い中並んでおもちを取りに来られておりました。つきたてのお餅はとても柔らかく、お雑煮の汁と一緒にいただく味はとても格別で、心も体も大変温まりました。また、1月15日(日)には、富田仮設住宅で「ヨークベニマルハ山田店」さんのご厚意による餅つきがありました。こちらも、住民の方々と前日の準備から一緒に行いました。住民の方々も自分たちで行う餅つきに張り切っており、餅をつく、雑煮を作る、餅を丸める、などそれぞれ自分が出来る事をいきいき行う姿が見られ、楽しい餅つきになりました。この餅つきには川内村、双葉町の住民の方々も一緒に参加して頂き富田仮設住宅全体の美味しい、そして楽しい一日になりました。今後も皆さんと一緒に楽しく行えるイベントを多くご提供できるよう頑張りますのでこれからも、ご協力お願い致します。寒い中餅つきにご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。



富田仮設住宅での餅つき



南一丁目応急仮設住宅での餅つき

日本財団 ROADプロジェクト情報交換会in亘理

先日、宮城県亘理町で「日本財団ROADプロジェクト 情報交換会」が行われました。震災以後、日本財団を始め全国各地の多くの団体が被災地で支援活動を行っています。それぞれの団体の活動状況や課題を共有し、それに対する対策・取り組みを話し合いました。震災から10ヶ月経過した現在も、様々な課題に直面しながらも日本全国から被災地域を支援する絆が途切れることなく繋がっています。そのことを改めて実感できました。今回得られた情報はおだがいさまセンターの今後の活動に活かしていくまた、ますます頑張っていかなければと思いました。



ROADプロジェクトでの発表

お気を付け下さい!!

仮設住宅でセールスや勧誘等での訪問があり、迷惑に感じたりお困りの方もいらっしゃるようです。場合によっては悪徳セールスなどのケースもあるかもしれません。防犯の為にもお気を付けください。また、近く、警察署のご協力をいただき「防犯教室」を開く予定もあります。

「太囂野会」のみなさんによる 太鼓演奏・獅子舞披露♪

新年を迎えた一週間が経過した1月8日(日)、午前中は大玉応急仮設住宅で午後からは富田応急仮設住宅で、東京からいらつしやった「太囂野会」の皆さんによる太鼓や笛の演奏と獅子舞の披露がありました。

凍えるような磐梯おろしが冷たく吹き付ける中、はつび姿で活気のある掛け声とともに力強く演奏していただきました。寒空の下でしたが、演奏の音に誘われるようにして本当に多くの方が集まり、振る舞わされた甘酒で身体を温めながら最後まで演奏を楽しんでおられました。迫力ある演奏、ありがとうございました。



和楽器演奏・獅子舞/太囂野会

韓国的学生ボランティア

韓国ソウルの学生さんが冬休みを利用してボランティア活動に来てくれました。炊き出しとして「韓国風餅スープ」を提供してくださり、また韓国の衣装「チマチョゴリ」を来ての華やかな韓国舞踊を披露し皆さんを喜ばせてくれました。児童クラブでは子供たちとの交流も行われ、韓国の学生の皆さんとの優しさを感じ子供たちも楽しい時間を過ごしました。



韓国舞踊の発表/ソウルからの学生

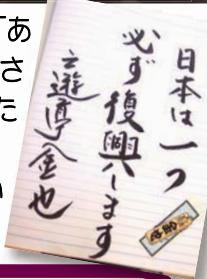
落語家 三遊亭金也さん

1月13日(金)に「福島に笑顔ひろげ隊」として落語家の三遊亭金也さんがいらしてくださり落語を披露して下さいました。午前中は富田応急仮設住宅で、午後は緑ヶ丘応急仮設住宅で行われ、落語は約40分間でしたが楽しく面白く時間は流れ「あつ」という間にお開きに…。笑いすぎて涙を流される方もいて、福島に笑顔を広げていただいたと思います。ありがとうございました。



落語の披露/三遊亭金也さん

三遊亭金也さんから嬉しいメッセージもいただきました。



【発行】

おだがいさまセンター

(富岡町生活復興支援センター)

運営 富岡町社会福祉協議会

電話 024-935-3332

FAX 024-935-3334

場所 郡市富田町若宮前32 (富田仮設住宅内)

ブログ <http://odagaisama.com/>

ツイッター <http://twitter.com/odagaisama>



QRコードはこちら

協力 福島県中地域NPOネットワーク
(通称:なかネット)



ブログ



ツイッター